



学校通信

吉里吉里学園
中学部

越郷の丘

令和2年12月24日

第13号 文責：浅沼

そこに「笑顔」がある限り

第2回吉里っ子カップ 大開催!!

「制限されているからできない」と諦めるのではなく、『こんなときだからこそできることを見つけてやってみる』『こんなときだからこそ私たちに必要なことをしよう』という高い意識と意欲で、“第2回吉里っ子カップ”を企画してくれた生徒会執行部の皆さんは、何日もかけて入念に準備し、打ち合わせを繰り返してきました。それは時に、放課後遅くまで残った作業でもありました。本当に頭が下がります。

今回の「ねらい」として

① 学年別で協力して行う活動を仕組み、学級の団結力を高める

② 全員が楽しくレクに参加し、学級の一員として活動する機会をつくる

の2点が挙げられていました。今こそ学級のあり方を大切にしたいという思いが伝わるものでした。

各学級では競技ごとに相談を重ねながら作戦を立て、いかに楽しく、いかに勝ちにつながるかを何日もかけて考えていました。そこからすでに学級の団結は図られていたのだと思います。

12月18日（金）、いよいよ「第2回吉里っ子カップ」が開催されました。

厳しい寒さが懸念されましたが、生徒たちの熱気と元気は、それさえも吹き飛ばしてしまうものでした。そこにはたくさんの「笑顔」の華が咲いていたことは言うまでもありません。この一日を通じて、お互いの良さや学級の良さを再確認できたと思いま

す。そして、これまでも取り組んできた「ハッピーメッセージ」は、一層温かいものになっていました。

互いに励まし合い、たたえ合い、手を取り合って過ごした一日。これから

の学校生活にもきっと活かされることでしょう。

＜実施種目＞

- 1 ドッジビーだよ！全員集合
- 2 なぞなぞローテーション
- 3 心を一つに！マッチングワード
- 4 Move! Look!! Answer!!!
- 5 頭捜注（とうそうちゅう）



自分を大切にすること＝強い自分を持つこと

「薬物乱用防止教室」(12/16)で多くのことを学びました

12月16日(水)に学校薬剤師の藤田佳克先生をお招きして、「薬物乱用防止教室」を行いました。藤田先生からは、①自分を大切にするために強い自分を持つこと、②薬との正しい付き合い方・正しい知識を知ること、③お酒・たばこ・ゲームについても理解を深めること、等について画像を用いながらわかりやすく教えていただきました。「今日は改めて・・・」という感想が多かったように、当然の知識としては理解していても、自分の身近にあることを感じるものがあまりなかったこれまでの生活から、自分自身の身体や心を守るために必要な内容であることを強く受け取ったようでした。藤田先生は最後に、「薬もそれ以外のものも私たちの生活に密着したものであることを覚えていてください。大切なのは、『ルールを決めてうまくつきあうこと』です。」とお話してくださいました。いつも心に留めておきたいと思いました。

予防のための心得

- 1 人とのコミュニケーションを積極的に(会話は相手の目を見て)
- 2 ゲームをしない日を一日設定する
- 3 ゲーム以外にも夢中になることができるものを見つける
- 4 “リスク”を知ること
- 5 運動と自然とのふれあいは同じくらい大切
- 6 良い食事と十分な睡眠を



<生徒の感想から(抜粋)>

- ・薬物やたばこ、お酒などの危険がわかったのでよかったです。特に、ゲームをかなりするので、正しくつきあうようにしたいです。(7年)
- ・たばこの有害物質にアンモニアが含まれることが意外だったし、薬物の隠語や性能が分かって、アルコールの脳への影響が分かったし、ゲーム依存の詳細が知れたので良かったです。(7年)
- ・薬物乱用防止教室で思ったことは、お父さんがお酒を少し多めに飲むので、心臓や肝臓などの障害にならないように注意していきたいと思いました。(8年)
- ・今日は薬物乱用の恐ろしさが分かりました。成人するまでお酒は飲みません。僕はあまりゲームをしないけど、大きな音・光には気をつけたいです。ありがとうございました。(8年)
- ・身体に一生残ることなので、絶対にしません！誘われたらNOとはっきり答えたいと思います。(9年)
- ・薬物乱用は身体に悪いのと、たばこだったら周りの人にも迷惑がかかることを知れて、これからは薬物乱用には気をつけようと思えたとし、周りの人にも薬物は危険だということを教えていきたいと思いました。(9年)
- ・今日の授業で改めて、薬物依存になる怖さや薬物で再逮捕される人の割合が分かったので気をつけたいです。(9年)

そんなところにも数学が!?

～万華鏡とサイコロの不思議～

「万華鏡」はみなさんご存じのことと思います。きれいな色や模様が心を癒やしてくれます。しかし、そこに『平行移動』や『点対称』などの**数学的見方**考え方が組み込まれていることを考えたことがあるでしょうか？サイコロの目は6つありますが、1つの目が出る確率は、本当に $1/6$ (ろくぶんのいち)でしょうか？先日、数学の授業を大変興味深く、楽しく見る機会がありました。核心に迫る方法は一つではないことを学びました。物事をいろいろな角度から見ることのできる柔軟性を持ち続けたいものだと思いました。

